

はやぶさ 第156号 2015年10月23日(金)

=====
今回のシリーズでは「資産運用や相続・不動産」について経験豊かな
専門家により解説してもらいます。

「老後破産」にならないためには？

5回シリーズの 第4回

著者： ファイナンシャルプランナー
マネープライフランニング
小屋 洋一

=====
はやぶさ 第156号を発信します。

【タイトル】「老後破産」にならないためには？

***** 本題 *****

第4回 「お金は使って初めて完成品」

連載第4回は、お金の「使い方」についてです。ここまで3回の連載で
老後の準備や自分にどれだけのお金があれば老後は安心して暮らせる
のかといった、主に貯蓄・運用面での話を展開してきました。具体的な
計算方法などもご紹介してきましたので、読者の皆さんは「自分」の老後の
資金が足りているかどうかの目安ぐらいいは付いてきたのではないかと思います。

その中で

「どうやら、うちの家庭は年金とこれまでの資産で老後は何とかかなりそうだ」
と思った方向けの話題です。

実はこうした家庭では、現役時代に儉約し、計画的に資産形成してきたから

こそ、老後の心配が無いわけですが、このような方々は逆に老後お金を「使う」ことにとても心理的なハードルがあります。そのせいもあってか、日本では60代以上の高齢者の方々がほとんどの金融資産を持っていることがわかります。

作家の邱永漢は「**お金は稼いで半製品、使って初めて完成品**」と言っていました。見ていると老後に自分の資産をきちんと使い切れずに亡くなってしまふ人が多いのもまた事実です。

お金はいくら稼いだり増やしたりしたところで、あの世には持っていきませんから、自分の生きている間に楽しく、有効に使うと言う事は老後のお金に関する大きなテーマの一つです。

老後は年金収入では生活費に足りないために、貯蓄を取り崩していくのが一般的なのですが、ごくまれに年金に恵まれている家庭や倹約質素な家庭では年金収入>毎月の生活費となっている家庭もみかけます。

これでは老後の資産は増えていく一方です。公的年金のような終身で支給される年金よりも支出レベルが下回っている場合には、もう少し積極的に消費することを考えて良いでしょう。

お金を使う場合には、老後のお金の「**使い方**」には大きく(1)消費(2)投資(3)贈与の3つがあります。

(1)の「**消費**」は言うまでもないでしょう。

倹約が身に付いて自分のためにはあまりお金を使えないタイプは、まずは人の為にお金を消費することから始めてみると良いでしょう。人を食事に招待したり、プレゼントをするなど人を喜ばせるためにお金を消費することには自分の為にお金を使う事よりも罪悪感が無いと思います。

(2)「**投資**」というのもお金に余裕がある場合には有意義なお金の使い方です。「**投資**」というのをお金を増やす目的だと思われるでしょうが、本来は自分が使わない資金を他人が利用できるように融通するのが投資です。

自分の代わりに社会の為に役に立つ事業を展開している会社に「**投資**」

する。子供が住宅購入する際に銀行の代わりに「貸付」する。など少し儲けることから離れて考えれば身の回りに「投資」する環境は結構あります。

(3) 「贈与」というのは主に子供や孫など親族を中心に行われるのが一般的ですが、必ずしも親族に限る必要はありません。知人友人にプレゼントをすると言うのも「贈与」に近い形態ですし、自分が参加するNPO法人や団体サークルなどに寄付をすると言うのも大きな意味合いでは「贈与」だと考えられます。

特に来年以降は相続税が増税されることもあり、多額のお金を残しておいたとしても、子供たちは相続税の心配をしなければならないと言う事になってしまいます。それであれば老後はこれまでお世話になった方や、将来世代を担う子供たちにお金を渡して有効に使ってもらった方が良いに決まっています。

世間では昨年からはまった1500万円まで贈与税が無税になる「教育資金の一括贈与」の利用が人気のようですが、よほど早期に財産移転を進めたい場合以外は、個人的にはあまりお勧めできません。

それよりも贈与に関しては毎年1名当たり110万円までは無税で移転ができますので、毎年複数名の方に贈与を進めていく方が資金使途も自由になるので使い勝手が良いです。

幸いにして老後にお金の心配をしなくてもすみそうな方は、お金の使い方「消費」「投資」「贈与」について検討してみてください。

今回の最終回は「2人のサラリーマン 蓄財物語」です。

無料で資産運用の相談をしてみたい方はコチラ

↓

<http://abvom.biz/brd/archives/ahwxrr.html>

具体的な老後資金のプランニングをしたい方はこちら

↓ (毎月、先着3名様受付限りです)

<http://abvom.biz/brd/archives/oqjjbm.html>

=====

【小屋洋一プロフィール】

個人に対する 300 件以上の個別相談、大手金融機関での
セミナー、執筆、メディア出演など通し、

『一人でも多くの方に主体的で
楽しい人生を送ってもらえるようにする』

ことを目標に活動。特定の金融機関には属さず
第三者的な立場からアドバイスを行なっている。

資産運用だけではなく相続・不動産に関する
専門知識も豊富なファイナンシャルプランナー。

短期的な利益にとらわれずに、長期的な目線と
全体的な視野からもたらされるアドバイスには定評があり、
会社経営者・弁護士・医師・コンサルタントなど
専門職からも厚い信頼を得ている。

《著書》

◇35 歳貯金ゼロなら、親のスネをかじりなさい！
ーすばる舎

◇いわゆる「当たり前幸せ」を愚直に追い求めてしまうと、
30 歳サラリーマンは、年収 1000 万円でも破産します。
ー東洋経済新報社

=====

***** お知らせ *****

◆ マイナンバー制度導入を検討されている企業様へのご案内です。

マイナンバーの手引書・CDができましたので、発売を開始いたします。

(1) 手順通りやれば誰にでもできる

マイナンバー制度運用手引書 1,000円(税込み) 送料着払い

<目次>

- 1) 推進体制と責任者を決める
- 2) 従業員に説明するとともに、協力を依頼する
- 3) 税理士や社会保険労務士等への業務委託
- 4) 個人事業主取引先のリストアップとマイナンバー提供依頼
- 5) 安全管理措置の実施・・・・・・・・始業/終業点検の実行
- 6) 保管管理の実施や廃棄等のルール化
- 7) 2016年に実施する課題の準備をする(現法令の場合)
- 8) 付表 MyNa 問診シート

(2) 手引書テンプレート、規程集等 CD 5,000円(税込み) 送料着払い

ご注文は

<http://www.hosbiz.net/pdf/20150907.pdf>

をプリント後必要事項を記入のうえ、注文票に記載のFAXでお願いします。
現品は、入金確認後に送付させていただきます。

また、予備調査をご希望の方は、

http://hosbiz.net/pdf/20150527_02.pdf

を開き、「問診シート」をプリントして、必要事項をご記入のうえ、FAXください。

FAX : 03-5832-9404

※ 特にP-マークや品質・環境/情報セキュリティISOを導入済みの
企業様には、ローコストでの導入をご提案できます。

- =====
- ◆パートナー会社の（株）I & C・HosBiz センターが、リーズナブルコストで
“現状を打破したい！”“はがゆい”ところに手当てする安心と安全の「かかり
つけ医」による「ビジネスドック」（企業の健康診断）のサービスを開始しました。
詳細は、以下のHP を参照ください。（マイナンバー制度にどう取り組むべきかの
診断もいたします。）

<http://www.hosbiz.net/pdf/dm.pdf>

=====

経営特くんゲーム 開催のスケジュールのご案内

「マスター20」、「トライアルゲーム」

詳細は下記のHP を参照ください。

<http://keiei-tokkunshi.jp/schedule.php>

- 毎回、熱心な皆さんが参加されています。繰り返し参加されることによって、
「経営力」がパワーアップされますとともに、「コミュニケーション力」も
体得できます。
- 「トライアルゲーム」（初回体験受講）の場合はテキスト代 1,000 円

- =====
- キットBOX を頒布いたします■

「経営特くんゲーム」に関心があり、トライアルゲームを受講された方、または、
これから体験したい方、向けに「キットBOX」と「マネジメント会計3表」
（MO、B/S、P/L）等のゲームに必要な表、ならびに、記入方法、戦略・作戦の

考え方を解説した「DVD」を添えて提供いたします。

◆購入方法はお問い合わせください。

E-Mail: happy@keiei-tokkunshi.jp

◆価格 : 定価 70,000 円 (税別) 支払方法は、ご相談に応じます。

◆特典

- 1) 「トライアルゲーム」および「マスター20講座」を5回、無料で受講
できます。
- 2) 申請いただければ、審査の上、「認定経営特訓士」に登録して頂けます (有料)。
- 3) 更に、インストラクターを目指す方には、特別料金で受講できますので、係まで
お問い合わせください。

=====

プレゼントのお知らせ

◆「人生に五計あり」の保存版を作りましたので、ご希望の方は、

happy@keiei-tokkunshi.jp

でお申込みください。

折り返し、メールにて送付させていただきます。

=====

一般社団法人 経営特訓士協会 (略称: K T G A)

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス: happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者: 理事長 平本 靖夫、 編集: 理事 石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone_river@ho